

図書館だより

*【 】内は所蔵館名

今月の五冊



「生還 山岳捜査官・釜谷亮二」
 大倉崇裕子 著 / 山と溪谷社

北アルプス黒門岳で起きた滑落事故。山の鑑識係である山岳捜査官釜谷と原田は、山を駆け巡り、残された証拠から意外な真実を導き出す。山岳推理小説四話を収録。

【中央】



「チコと きんいろのつばさ」
 レオ・レオーニ 著
 あすなろ書房

ことりのチコには羽がありませんでしたが、助けてくれる仲間がいました。ある夜、ねがいがかかって金色のつばさをさずかったチコは、仲間に入れてもらえずひとりぼっち...。

【中央・長岡】

スタッフ通信

市内数校の小学校で、物語の中に出ているなぞなぞを紹介しました。「空気の乾いた風の強い日にあらわれるのはなにじんか？」3年生の皆さん、



本を読んで答え合わせしてくれましたか？(本の名前は『うさぎのなぞなぞ屋』)(中央図書館 中山)

問合せ

【中央図書館】電話 0558 76 5566
 毎週月曜日休館
 おはなし会 12月13日(土)11:00 ~
 【長岡図書館】電話 055 947 2364
 毎週月曜日休館
 おはなし会 12月18日(木)14:30 ~
 【葦山図書館】電話 055 949 8605
 毎週水曜日休館
 おはなし会 12月13日(土)14:00 ~

*おはなし会は、赤ちゃん~小学校低学年くらいまでが対象です(事前申し込み不要)。
 *毎月最終金曜日・祝日・年末・年始などは3館共通の休館日です。
 *詳しくは、月のカレンダー(広報にはさみ込み)・図書館ホームページ・各図書館配布の図書館カレンダーをご覧ください。

「織姫かえる 宝引の辰捕者帳」



泡坂妻夫 著 / 文藝春秋
 七夕直前、手習いの師匠の奥方が姿を消した。奥方の心を癒した短冊に秘められた謎とは...。日本橋十軒店の雑市、永代寺の花祭など、江戸の暦を事件で綴る歳時記捕者帳。

【中央・葦山】

「聖母 (ホスト・マザー)」



仙川環 著 / 徳間書店
 女性作家でなければ描けない、子どもができない悲劇...。代理母は許されるのか？最先端の医学知識を駆使して表現された感動作。医学界最大のタブーに挑む傑作サスペンス。【長岡】

「生きるとは 自分の物語をつくること」



小川洋子、河合隼雄 著
 新潮社
 物語は心の葉。人生の危機に当たっても、生き延びる方法を切実な体験で語りつつ伝える。河合隼雄氏が倒れる直前に奇跡のように実現した最後の対話。【葦山】

参加無料！みんなで来てね。 冬のおたのしみ会



各図書館とも申し込みの必要はありません。直接会場へお越しください。問い合わせは各図書館まで。

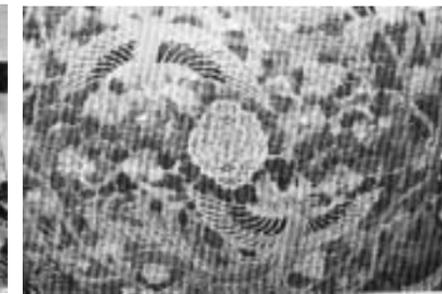
	長岡図書館	葦山図書館	中央図書館
とき	12月13日(土) 14:00 ~ 16:00	12月20日(土) 10:30 ~ 11:30	12月20日(土) 13:30 ~ 14:30
ところ	長岡図書館 閲覧室	葦山時代劇場 映像ホール	中央図書館 2階視聴覚室
内容	クリスマス工作	エプロンシアター、英語の読み聞かせ、パネルシアター など	エプロンシアター、絵本の読み聞かせ など

【牡丹鳥獣文繡帳】
 指定区分 県指定有形文化財(工芸)
 指定名称 牡丹鳥獣文繡帳
 員数 3帳
 指定年月日 昭和52年3月18日
 製作年代 中世
 所蔵者 北条寺(南江間) 電話 055 948 1399

南江間の北条寺に伝わるこの繡帳は、北条政子が寄進したものだといわれています。江戸時代末に編纂された地誌『豆州志稿』にもそのように記されています。



【牡丹と獣】 牡丹鳥獣文繡帳の一部



【牡丹と鳥】

縦二百四十九センチ、横四十八・五センチの大きさです。空色がかつたうぐいす色の絹の地に界線を施し、その内外を金糸や各種の色糸で刺繍してあります。縫い方は平縫いと、まとい縫いの二つの手法で全面に及び、文様は牡丹、果樹、鳥や動物などが表されています。通称『つづれの錦』と呼ばれるこの繡帳は、壁に掛けた

11月29日に、現地視察編『旗揚げの足跡をたどる』と題して、文化財ウォーキングを実施しました。

続いて2回の講演会を実施しますのでふるってご参加ください。この機会に、伊豆の国市が日本の中世(武家社会)の始まりの地であったことを再確認してみませんか。1回だけの参加も大歓迎！

問合せ 社会教育課 電話 055 948 1461

講演会その1『武士のはじまり1~鎌倉幕府の草創~』

とき 12月13日(土)14:00 ~ 16:00

ところ 葦山時代劇場映像ホール

講師 明治大学文学部教授 上杉和彦氏

講演会その2『武士のはじまり2~鎌倉北条氏の興亡~』

とき 平成21年1月17日(土)14:00 ~ 16:00

ところ 葦山時代劇場映像ホール

講師 神奈川県立金沢文庫主任学芸員 永井晋氏

聴講無料！
 申込み不要！
 伊豆の国学講座(座学編)

り、吊るしたりしてお堂の内部を荘厳するためのものと考えられ、製作されたのは、室町時代から桃山時代ごろと考えられています。以前は寺の行事などで使われていたが、現在は保存のためケースに入れて保管しています。通常は公開していませんので、拝観を希望する人は、事前に北条寺に連絡してください。

文化協会 だより 33

伊豆の郷 朗読と語りの会

伊豆の国市、函南町、伊豆市、三島市、熱海市、下田市など伊豆の各地から集まり、朗読と語りの交流発表会を開催します。

とき 十二月六日(土)
 開場 十一時三十分
 交流発表 十二時~十六時
 ところ 函南町中央公民館大ホール
 問合せ 伊豆の郷朗読と語りの会 実行委員長(河原) 電話 055(974)0278

あなたも投句を 蛭ヶ島公園にも 投句掲示板を設置

葦山地区の四力所に投句掲示板を設置し、訪れる市民や観光客から俳句・短歌などを投句していただき、定期的な選句作品を掲示しています。十月に葦山時代劇場に設置してあった掲示板を蛭ヶ島公園へ移設しました。このほか、江川邸、葦山反射炉、願成就院に設置してあります。

問合せ 文化協会学芸部(岩城) 電話 055(876)4590